

令和元年第11回定例教育委員会

令和元年11月26日(火) 午後2時
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長 委員 委員 委員 委員	月田健二 支部英孝 橋本幸子 林大輔 須田壽美江	説明員	教育部長 萬直樹 教育部次長 伊藤忠信 学校教育支援室長 総務課長 谷口圭吾 学校教育課長 近藤澄人 教育支援課長 廣田修行 給食センター長 松井正行 対雁調理場長 鈴木知幸 生涯学習課長 佐藤友彦 スポーツ課長 天野保則 スポーツ課参事 三浦洋史 情報図書館長 遠藤毅史 郷土資料館長 山本則行 郷土資料館参事 榎田智幸 総務課総務係長 兼平一志 なし 嶋中健一
			記録員 傍聴者	

1 報告事項

- (1) 令和元年度中学生国際交流事業について
- (2) 江別市学校給食費単価の改定について

2 審議事項

- (1) 令和元年議案第48号
令和2年度江別市一般会計教育予算要求方針について

3 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 中学生サミットの開催について
- 次回教育委員会予定案件について
- 令和元年第12回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長	<p>(開会)</p> <p>ただいまから、令和元年第11回定例教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は、配付のとおりであります。 会議に先立ち、本日の会議録署名人を、須田委員にお願いいたします。 それでは、議事に入ります。 1の報告事項(1)令和元年度中学生国際交流事業についての報告を求めます。 天野生涯学習課長をお願いします。</p>
天野生涯学習課長	<p>報告事項(1)令和元年度中学生国際交流事業についてご説明いたします。 資料1ページをご覧ください。 当該事業は姉妹都市であるオレゴン州グレシャム市との間で行われており、今年度は、12月5日から12月15日までの11日間の実施を予定しております。 今回の訪問団のメンバーにつきましては、中段に記載のとおりですが、団長として、大麻東中学校の加藤孝章教諭に生徒の引率・指導をお願いし、全体調整をALTのマシュー・ジョンソン氏にお願いしております。 参加者は、中学校2年生が3名、3年生が3名の合計6名であります。 各参加者は、今年度の派遣割当てに該当する中学校からそれぞれ推薦をいただいて決定したものでございます。 訪問団は、8月30日の第1回目の事前研修会を皮切りに、これまで8回の事前研修を終え、11月25日に市長への出発の挨拶を行いました。 旅行日程は裏面に記載のとおりですが、訪問する生徒につきましては、12月6日から12月12日までの7日間、各家庭にホームステイをし、家庭生活を体験するとともにディープクリーク・ダマスカス中学校への体験入学により、同年代の生徒との交流を行います。12月13日は、ポートランド市内見学などアメリカ合衆国の文化に触れ、国際理解や国際感覚などの見聞を広めるプログラムとなっております。12月14日帰路に就く予定であります。 以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、令和元年度中学生国際交流事業について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
鈴木給食センター長	<p>次に、報告事項(2)江別市学校給食費単価の改定についての報告を求めます。 鈴木給食センター長をお願いします。 江別市学校給食費単価の改定についてご報告いたします。 江別市学校給食会では今年度に入り、学校給食費単価の改定について議論を進めてまいりましたが、このたび、江別市学校給食費単価の改定が決定いたしましたので、その内容についてご説明申し上げます。 本市の給食費単価につきましては、平成26年4月の改定から、今年度までの5年間据え置いてきたところであります。この間、主食、副食の原材料費や加工賃、牛乳価格が値上がりしており、これらの上昇分は、副食費を切り詰めることで対応しておりますが、文部科学省で定める学校給食摂取基準の栄養量を確保するための献立の工夫も限界に達しつつあることから、給食費を改定するものであります。 資料をご覧ください。 初めに、1の給食費改定の考え方についてご説明いたします。 改定後の主食費、牛乳費は、毎年単価の上昇分が反映されていることから、令和元年度単価といたします。副食費は、平成26年度から共通して使用している食材は、野菜16品目、肉4品目、加工品62品目の82品目でございますので、それらの令和元年度までの上昇率である6.96%を平成26年度副食費の単価に乗じた金額といたします。その上で、主食費、牛乳費、副食費の合計額を令和2年度以降の給食費単価といたします。 次に、2の主食費・牛乳費・副食費の増減をご覧ください。</p>

	<p>(1)の主食費は、平成26年度から令和元年度までの5年間で、金額で5,27円から5,73円、率で6.66%から7.32%増加しています。(2)の牛乳費は、平成26年度から令和元年度までの5年間で、金額で4,67円、率で10.86%増加しております。続いて(3)の副食費についてですが、主食費・牛乳費の増加分を、副食費を切り詰めることで給食費単価を上げずに対応してきたことから、(3)の表のとおり、金額で9,94円から10,40円、率で5.25%から6.77%の減額となっております。</p> <p>次に、3の平成26年度と令和元年度の食材費の比較をご覧ください。</p> <p>平成26年度から共通して使用している野菜、肉、加工品の1キログラムあたりの平均単価を算出し、それぞれの増減の割合である増減率は、表に記載のとおりです。表の右から2列目の構成比は、令和元年度におけるそれぞれの品目の支払額の構成割合であります。表の一番右側の加重平均は、それぞれの品目の増減率に構成割合を加味するために構成比を乗じたものであり、その合計が6.96%となります。</p> <p>補足資料の令和2年度以降の1食単価の算定をご覧ください。</p> <p>主食費と牛乳費は令和元年度の単価、副食費は、平成26年度の副食費に6.96%を上乗せした額とし、これらの金額の合計を令和2年度以降の1食単価とするものであります。</p> <p>次に、4の改定後の給食費単価をご覧ください。</p> <p>小学校は21円増加し、低学年が289円に、中学年が292円に、高学年が295円となり、中学校は24円増加し351円となります。</p> <p>また、12か月の影響額としましては、食数を204食で計算しましたところ、小学校は4,284円の増加、中学校は4,896円の増加となります。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、江別市学校給食費単価の改定について、質問等がございましたらお受けします。</p>
支部委員	<p>補足資料に掲載されている小学校低学年、中学年、高学年の主食費の違いについて教えていただけますでしょうか。盛り付けや量の違いによるのでしょうか。</p>
鈴木給食センター長	<p>主食費の違いですが、白飯については、小学校1年生と2年生の低学年は70グラム、小学校3年生と4年生の中学年は80グラム、小学校5年生と6年生の高学年は90グラム、中学校は120グラムを基本としています。パンについては、低学年は40グラム、中学年は50グラム、高学年は60グラム、中学校は70グラムを基本としており、盛り付けの量により主食費に違いが出るものでございます。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p>
橋本委員	<p>近年の残食率と給食費の未納率について教えていただけますでしょうか。</p>
鈴木給食センター長	<p>給食の残食率の推移ですが、平成26年度が18.98%、平成27年度が19.60%、平成28年度が18.46%、平成29年度が18.64%、平成30年度は19.54%であり、大体18%台から19%台で推移している状況です。</p> <p>給食費の未納率については、平成26年度が1.81%、平成27年度が1.67%、平成28年度が1.66%、平成29年度が1.69%、平成30年度が1.62%となっており、平成27年度から平成30年度の4年間につきましては、1.6%台で推移しているところです。</p>
橋本委員	<p>材料費が上がっているのは承知しておりますので、給食費を改定するのはやむを得ないと思っております。ただ、残食率と未納率については、既に努力していただいていると思いますが、今後も数字を下げていく努力をしていただいた上で、保護者にも理解を求める必要があると思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p>
須田委員	<p>給食試食会などでお話を伺うと、魚の煮物とかひじきの煮物などの和食がメニューになると残す率が高く、子供たちの好きなものは残す率が低いと聞いたことがあります。家では、ふだん親が魚などを調理する機会が減っているのかもしれませんが、一番残食が多いときと少ないときの差はどのぐらいかは分かりますか。</p>
鈴木給食センター長	<p>1日当たり、1か月当たりの残食率は取っていますが、食材や献立ごとの残食率については統計を取っていないので、申し訳ありませんが把握しておりません。</p>

支部委員	逆に、子供たちが希望しているというか、食べたがっているメニューというのは把握しているのでしょうか。
鈴木給食センター長	毎年、小学校3年生、4年生、中学校2年生にアンケートを行っていますが、児童生徒の好きなおかずとしてはカレーライスやラーメンサラダ、ハンバーグ、マーボー豆腐といったものが好きな献立として挙げられています。
橋本委員	しつこいようですが、先ほど食材やメニューごとの残食率は把握していないと、きっぱりとおっしゃっていましたが、栄養士さんは、別の考え方で統計を取っているかもしれません。現代に合わせた、子供たちがなるべく残さないようなメニューの工夫はもちろんですが、食育という意味では、和食の良さなどを家庭で味わえないなら、なおのこと給食で工夫をしながら味わっていただくということもやっていただいていると思います。
月田教育長	データが全てではないですが、いろいろな状況を把握していただいた上で、子供たちに寄り添って、できるだけ無駄のないように、給食をつくって食べてもらえるようにしていただければと思います。
月田教育長	ほかに質問等はございますか。 (質疑終了)
月田教育長	それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
月田教育長	続いて、2の審議事項に入ります。
月田教育長	審議事項(1) 令和元年議案第48号 令和2年度江別市一般会計教育予算要求方針についての説明を求めます。
月田教育長	萬教育部長お願いします。
萬教育部長	令和元年議案第48号 令和2年度江別市一般会計教育予算要求方針について、ご説明いたします。
萬教育部長	本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条において、地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち、教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見を聴かなければならないと定められていることから、この規定に基づく教育委員会の意見聴取の前段として、教育予算要求方針をご審議いただこうとするものであります。
萬教育部長	予算編成につきましては、今後、財政部門において本格的に作業が進められるところでございます。
萬教育部長	このあと、資料1ページの教育部の予算要求方針については次長から、2ページ以降の課ごとの方針は各所管課長から、順次ご説明申し上げます。
伊藤教育部次長	それでは、資料1ページの教育部の予算要求方針について、私からご説明いたします。
伊藤教育部次長	国の第3期教育振興基本計画においては、人生百年時代を豊かに生きていくため、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力の向上に向けて取り組むとしており、次年度から実施される新たな学習指導要領においても、予測できない変化を前向きに受け止め、より良い社会の創り手となるための力を子供たちを育むとしております。
伊藤教育部次長	本市においては、全ての子供たちが、確かな学力、豊かな心、健やかな体を、このふるさと江別で育み、そして夢と自信を持って、自らの可能性に挑戦していけるよう、教育政策を推進しており、加えて、市民一人ひとりが心身ともに健康で暮らしていけるよう、生涯学習や文化・スポーツの環境整備、機会の充実も大切に考えております。
伊藤教育部次長	これらを踏まえ、教育部では、本年改訂した江別市教育大綱の理念実現のための具体的な政策の展開について、記載の三つの個別計画等の考え方にに基づきながら推進する方針の下で必要な予算要求を行います。
伊藤教育部次長	主要なものは次の4点であります。
伊藤教育部次長	1点目は、安全・安心の確保が最重要課題となっている、各分野の施設について、長寿命化や老朽化した施設設備の計画的な更新・修繕等の取り組みを進めるというもの。
伊藤教育部次長	2点目は、児童生徒の基礎学力の向上を目指し、個々のニーズに応じた支援の充実とともに、マンパワーとICTを活用した学習環境整備を引き続き推進するとともに、教員が教育の質を高められるような環境の整備を推進するというもの。
伊藤教育部次長	3点目は、生涯学習や文化・芸術活動を推進するため、幅広い年齢層に応じた学習機会

近藤総務課長	<p>の提供など、各種活動の機会を充実する取り組みを引き続き進めるというもの。</p> <p>4点目は、全ての市民が、スポーツをするだけでなく、見る、支えることを通じて、スポーツに親しめるようスポーツ活動の機会提供やスポーツ振興のための支援を引き続き進めるといふものであります。</p> <p>私からは以上ですが、詳しくはそれぞれの所管課長等から順次ご説明いたします。</p> <p>引き続き、私から総務課所管分についてご説明いたします。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>学校・家庭・地域が連携して、子供を育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行うため、引き続き、コミュニティ・スクール事業を進めてまいります。</p> <p>次に、安全で安心な教育環境の実現に向け、学校施設・設備の維持保全を図るため、老朽化した施設設備の更新等を計画的に進めてまいります。</p> <p>次に、多様化する教育内容に対応するため、順次、小中学校全校に校内LANを整備し、学習環境の充実を図ってまいります。</p> <p>次に、遠距離通学が必要な児童生徒の安全確保を図るため、引き続き江北地区、豊幌地区、東西野幌地区、角山地区にスクールバス及びスクールタクシーを運行してまいります。</p> <p>次に、私立学校については、各校の建学精神に基づき、個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育を一層促進するため、引き続き支援してまいります。</p> <p>私からは以上です。</p>
廣田学校教育課長	<p>引き続き、私から学校教育課所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料2ページの下段をご覧ください。</p> <p>学力向上では、子供たち一人ひとりの確かな学力の定着を図るため、学習サポート教員の派遣を継続して実施し、ティーム・ティーチングや少人数指導、中学校での放課後学習など、きめ細やかな学習指導を行ってまいります。</p> <p>次に体力向上では、北翔大学の協力のもと、小学校1校をモデル校とした体力向上事業を継続するほか、小学校で北翔大学の教授と学生による出前授業を実施してまいります。</p> <p>次に、小中学校の全学年の外国語の授業に外国語指導助手を引き続き派遣し、外国語教育の充実を図ってまいります。</p> <p>次に、学校図書館機能の充実を図るため、児童生徒用図書を整備を引き続き進め、蔵書率の向上を図ってまいります。</p> <p>次に、小中学校におけるICT教育環境整備の一環として、市内小中学校全校に校務支援システムを整備することで、小学校から中学校への学籍等のデータの円滑な引継ぎや、校務の効率化による教職員の働き方改革等を進めてまいります。</p> <p>次に、小学校における新学習指導要領全面実施に伴い、教科書が改訂されるため、新しい教科書に対応したデジタル教科書を購入し、ICT教育環境を整備してまいります。</p> <p>私からは以上です。</p>
松井教育支援課長	<p>引き続き、私から教育支援課所管分について、ご説明いたします。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。</p> <p>特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握することで、個に応じた指導を実施するとともに、教育環境を含めた支援体制の整備を進めてまいります。</p> <p>次に、いじめの未然防止や早期発見のため、心のダイレクトメールや専任指導員による相談のほか、問題行動の防止に向けた巡回を引き続き実施するとともに、関係機関とも連携して早期対応に努めていくほか、不登校児童生徒への支援として、すぽっとケアなどを実施することにより、学校復帰への支援や社会性の育成を図ってまいります。</p> <p>次に、悩みを抱える子供や保護者に対し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどによる相談を引き続き実施するほか、関係機関と連携し問題の解消に向けた支援を進めてまいります。</p> <p>次に、スマートフォンなどによるインターネット利用トラブル防止のため、情報モラル教育を実施するなど、児童生徒や保護者への啓発に取り組んでまいります。</p> <p>次に、医療的ケアを必要とする児童生徒が、安全に就学できる体制の充実を図ってまいります。</p> <p>私からは以上です。</p>

鈴木給食センター長	<p>引き続き、私から給食センター所管分についてご説明いたします。 資料3ページの下段をご覧ください。 学校における食育の推進については、江別市の公立小中学校における食育の推進（指針）に沿って、各学校が特色に応じた実践的な食に関する指導に取り組めるよう支援するとともに、食生活の重要性について認識が深まるよう保護者を含めた啓発に努めてまいります。 また、地場産の米、小麦や野菜など、安全・安心・新鮮な食材を使用した給食を提供するとともに、引き続き、地場産品の使用拡大を図ってまいります。 私からは以上です。</p>
天野生涯学習課長	<p>引き続き、私から生涯学習課所管分についてご説明いたします。 資料の4ページをご覧ください。 第9期社会教育総合計画に基づき、その基本理念である江別の風土を生かし、豊かで潤いのある地域社会を創造する人づくりの実現に努めます。 そのためには、えべつ市民カレッジ事業等、市民が社会参画に向けた多様な知識を得る機会を提供するなど各関係機関・団体等と連携・協働を深めながら、幅広い年齢層に応じた学習機会を提供するほか、社会教育施設の維持整備等に努め、生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりを行います。 次に、芸術・文化振興については、優れた芸術や伝統文化に触れる機会を拡充し、市民が気軽に参加・体験できる場の充実に努めるとともに、市民団体が主体的に行う芸術発表や次代を担う青少年の育成活動を支援し、市民と共に参加・創造する文化芸術活動の充実に努めます。 そして、青少年については、学校・家庭・地域が一体となって子供を守り育てる体制づくりを推進するため、家庭教育に関する学習機会や情報の提供を行うほか、地域での青少年活動を支援するなど、青少年の安全・安心な環境づくりに取り組みます。 また、青少年キャンプ村事業等の各種体験事業を、諸団体と連携して推進し、青少年の健全育成に努めます。 私からは以上です。</p>
三浦スポーツ課長	<p>引き続き、私からスポーツ課所管分についてご説明いたします。 資料4ページの下段をご覧ください。 スポーツ推進計画及び健康都市宣言の理念を踏まえ、市民が生涯にわたってスポーツを気軽に行える場や機会を提供し、心身ともに健やかで充実した市民生活の実現に努めます。 そのため、スポーツをする、見る、支える機会の充実に努めていくとともに、学校体育活動や各種スポーツ競技者、障がい者、女性など様々な領域で、市民が日常的にスポーツを楽しむ機会の提供や環境整備を進める中、スポーツを習慣付けるための手だてや情報提供を充実させてまいります。 また、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催やラグビーワールドカップ2019日本大会の公認チームキャンプ地となったことを契機に、スポーツ合宿や障がい者スポーツ大会の開催支援に取り組み、アスリートとの交流や実技指導などの機会を通して江別市のスポーツ振興につなげてまいります。 次に、地域スポーツ活動の推進については、市内の体育団体を統括する組織を支援し、各団体の活動の活性化を図ります。 スポーツ環境の整備・充実にについては、施設の老朽化対策や市民要望など各種の課題を踏まえ、安全で快適なスポーツ施設の計画的な改修整備に努めてまいります。 私からは以上です</p>
山本情報図書館長	<p>引き続き、私から情報図書館所管分について、ご説明いたします。 資料の5ページをご覧ください。 まず、子供の読書環境の充実に向けて、子供たちの感性や情操を育み、読書への関心を高める機会として、おはなし会を開催するほか、学校図書館への学校司書の巡回により、教育活動を支援し、児童生徒の学力向上を図ります。 また、図書館サービスの充実に向けて、利用者の様々な要望に応えられるよう幅広い分野の図書資料を収集するとともに、情報図書館の快適な施設環境の維持と利用者の利便性向上に努めます。</p>

<p>櫛田郷土資料館長</p>	<p>私からは以上です。 引き続き、私から郷土資料館所管分についてご説明いたします。 資料5ページの下段をご覧ください。 郷土資料館では、市民のふるさと学習を支援するため、ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業により、子供や大人を対象とした体験型学習プログラムを提供するとともに、埋蔵文化財や民具などの収蔵資料を、展示公開する企画展を開催します。 また、有形・無形の文化財の保護・保存の取り組みとして、埋蔵文化財発掘調査等を行うとともに、野幌太々神楽の伝承活動に対する支援を継続します。 次に、セラミックアートセンターでは、芸術文化の鑑賞機会として「瀬戸焼 受け継がれる千年の技と美」展などを開催し、陶芸をはじめ江別らしい芸術文化の創造と発信に努めるとともに、陶芸教室等により陶芸に親しむ機会を幅広く提供することで、市民の芸術文化活動を支援してまいります。</p>
<p>月田教育長 林委員</p>	<p>以上です。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 まず、総務課の校内LAN整備について、順次整備していくと書かれているのですが、それぞれの学校の環境を見ながら、全校に整備することを目指していくのかどうかについて伺いたいと思います。 次に、学校教育課の校務支援システムの導入は、一度に小中学校全校に入れることを目指すということでしょうか。</p>
<p>近藤総務課長</p>	<p>校内LANの整備については、市教委予算の研修協議会からも要望が出されておりますし、先週、市長が招集した総合教育会議においても、予算に関する意見交換の中で取り上げられたところですが。 今回、総務課で予算要求をしている背景ですが、国においてもICT環境整備ということが大きな関心事になっておりまして、文部科学省が8月末にまとめた概算要求の中でも、校内LAN整備に関する補助制度が新設されています。 この補助制度は、GIGAスクールネットワーク構想の実現という中で、国は令和2年度から3年間の計画の中で、全国の全ての小中学校、高校、特別支援学校の教室まで高速かつ大容量の通信ネットワークを整備するとしています。この補助率が2分の1という手厚い制度になっておりますので、江別市教育委員会としても、この機会を逃さずに補助制度を活用する中で整備をしていこうと考えています。 林委員のご質問の件については、この補助制度を利用するという事で、3年間で経費が平準化するように、児童生徒数や学級数を勘案しながらも、江別、野幌、大麻という3地区がありますので、どこかの地区に偏ることなく、バランスよく3年間で順次整備していきたいと考えております。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>私からは、校務支援システムの整備についてお答えします。 現状としては江別第二小学校と江別第二中学校が、平成28年度からモデル事業として導入しており、現在も運用している状況になっています。 それ以外の学校は未導入ですので、来年度、全ての学校に導入する形で予算要求をしようと考えております。</p>
<p>月田教育長 須田委員</p>	<p>そのような意気込みで予算要求をしようということですか。 ほかに質問等はございますか。 学校教育課の資料に書かれている、北翔大学の協力のもとで行う小学校1校をモデル校とした体力向上事業について伺います。 この事業は、毎年モデル校が変わるのか、それとも同じ学校をモデルとして何年かにわたって体力向上の様子を見守るのかのどちらでしょうか。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>モデル校は固定していて、大学のすぐ近くにある文京台小学校をモデル校として毎年度実施しています。そこでの取り組みを、市内の他の小学校にも広めていくという意味で、出前授業という形で実施しています。出前授業については、平成25年度から実施しておりまして、平成30年度をもって一巡してまいります。 来年度から2巡目に入りますので、さらに出前授業を行って子供たちに体力向上を広めていくことを考えております。</p>

月田教育長	<p>補足すると、文京台小学校では大学生と大学の先生がいろいろと指導してくれるのですが、その中でも子供たちが真剣に取り組めるものを、出前授業で各学校に広めていく形になっています。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p>
須田委員	<p>情報図書館についてですが、最近の利用状況はどのように推移しているのでしょうか。</p>
山本情報図書館長	<p>利用者数については、少しずつ減少傾向です。図書の貸出しについては、平成29年度と比較すると平成30年度は若干増えています。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p>
林委員	<p>教育支援課で、いじめ防止の予算を要求するとしていますが、昨年度から、いじめの定義と言いますか、報告の仕方が変わったということで件数自体が大幅に増えていると思います。それに伴い、いじめの解決に向けて、予算を割いているものはあるのでしょうか。</p>
松井教育支援課長	<p>いじめの未然防止のためには、毎年実施しているものですが、心のダイレクトメール事業があります。学校の先生には相談できない児童生徒に対して、気軽にいじめ等を訴えられるようにするために必要な予算を要求する予定です。</p>
月田教育長	<p>特別に増やすという方針ではないということですね。</p>
橋本委員	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>教育支援課のすぼっとケア事業については、過去の教育委員会会議の中でも何度も話をしたところですが、予算要求の意気込みはいかがでしょうか。現状維持という考え方でしようか。</p>
松井教育支援課長	<p>すぼっとケア事業については、不登校児童生徒が増えている状況ですが、それに伴いすぼっとケアに通ってくる児童生徒も増えております。予算としては、学習サポート教員ということで、夏休み以降に不登校の児童生徒が増える傾向にあること踏まえて、その予算を計上して、学習面のサポートをしていこうと考えております。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、令和元年議案第48号 令和2年度江別市一般会計教育予算要求方針についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他、各課所管事項についてに入ります。</p> <p>(1) 中学生サミットの開催についての説明を求めます。</p> <p>松井教育支援課長お願いします。</p>
松井教育支援課長	<p>本年度のえべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議の開催についてお知らせいたします。</p> <p>この会議は、立命館慶祥中学校を含めた市内中学校の生徒会が一堂に会し、発表や意見交換を行うもので、平成20年度から毎年度開催しております。12回目の開催となる今年度は、1月14日火曜日午後1時30分から市民会館小ホールで開催いたします。</p> <p>本年度のテーマは、いじめ根絶に向けた取り組みや考えと生徒会活動の活性化に関わる取り組みや考えの二つで、情報モラルの向上に向けた視点も含め各校から発表を行います。</p> <p>その後、九つのグループで生徒の進行による意見交流を行い、各グループごとに交流内容を発表します。</p> <p>ご都合がございましたら、是非ご来場いただきますようお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは次に、次回教育委員会予定案件及び日程について説明願います。</p> <p>近藤総務課長お願いします。</p>
近藤総務課長	<p>今回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、令和元年第4回江別市議定例会の一般質問について、江別市学校教育基本計画、江別市社会教育総合計画、江別市スポーツ推進計画、江別市子どもの読書活動推進計画の各計画に係る平成30年度の推進状況について、令和2年江別市成人のつどいの開催について、令和元年度小中学生国内交</p>

月田教育長	<p>流研修事業について、審議事項として、令和２年度江別市一般会計教育予算要求案についてなどを予定しております。</p> <p>また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、１２月２５日水曜日午前１０時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は１２月２５日水曜日午前１０時からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第１１回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>
-------	--

終了 午後２時４９分

署名人（教育長） 月 田 健 二

署 名 人 須 田 壽美江